

週間漁海況情報 2026年第27号

令和8年7月14日発行

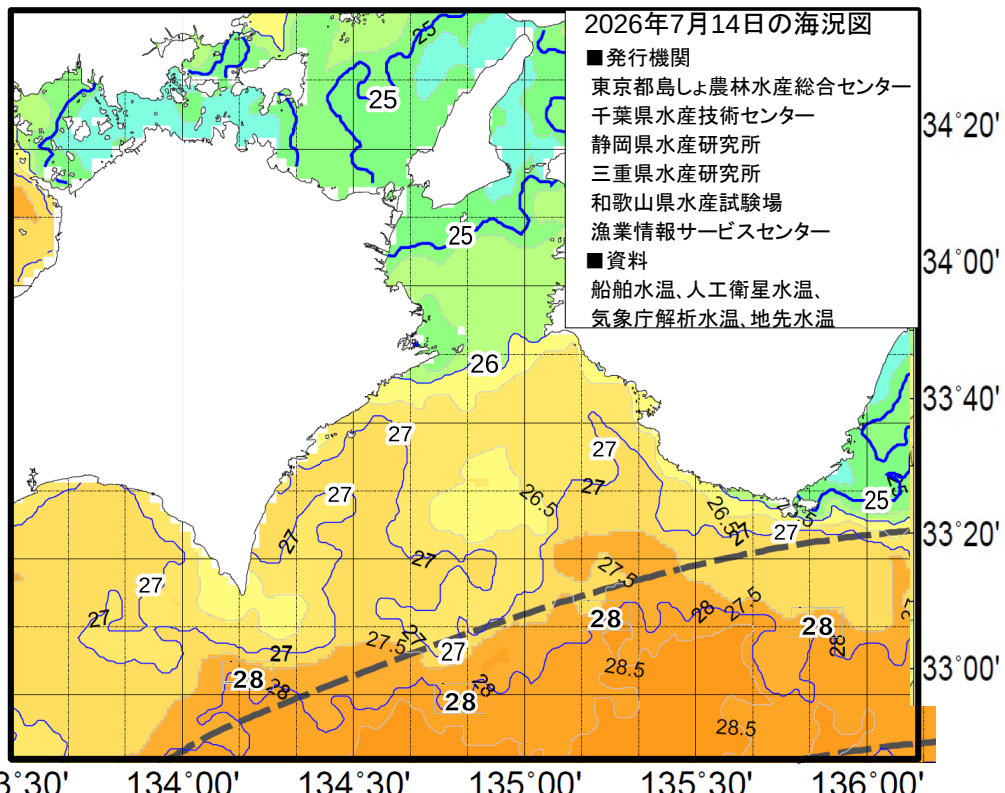
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖30マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は26～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で24～25、紀伊水道で24～25、海部沿岸で25～27℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

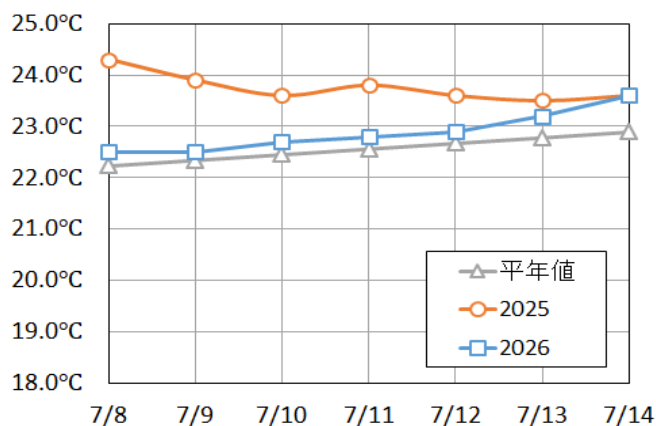
(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

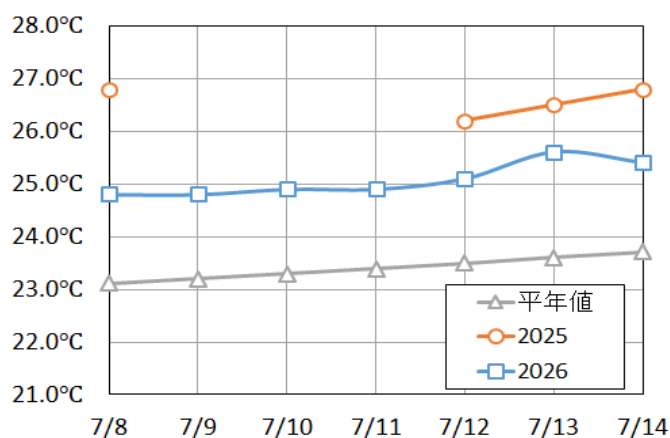
2. 地先水温(7月8日～7月14日)

鳴門地区の水温は、22.5～23.6℃で「平年並み」から「やや高め」で推移。浅川地区は、24.8～25.6℃で「高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、1.8～2.4℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(7月15日～7月21日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」、浅川地区で「高め」で推移する見込み。

漁況

(7月6日～7月12日)

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

船びき網では、シラスが大きく増えて135トン水揚げされた。
 釣りでは、あまだい類が大きく増えて中主体に0.5トン水揚げされた。
 延縄では、ハモが大きく減って中主体に3トン、いとより類が大きく増えて小主体に2.1トン、あまだい類が大きく増えて1.9トン、はた類が大きく増えて大主体に0.7トン水揚げされた。
 底びき網では、ハモが大きく減って1.9トン、いとより類が大きく増えて1.3トン、マダイが増えて1トン、タチウオが大きく増えて0.8トン水揚げされた。
 小型定置網では、イサキが減って中主体に0.5トン、マダイが増えて0.5トン水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、マルソウダが増えて0.5トン水揚げされた。
 大型定置網では、マアジが減って0.5トン水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.4トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	135,000	1,350		↗↗
	釣り	5	あまだい類	506	101	中主体	↗↗
	延縄	57	ハモ	2,966	52	中主体	↘↘
		30	いとより類	2,148	72	小主体	↗↗
		44	あまだい類	1,932	44		↗↗
		9	はた類	675	75	大主体	↗↗
	底びき網	30	ハモ	1,864	62		↘↘
		18	いとより類	1,250	69		↗↗
		18	マダイ	1,000	56		↗
		16	タチウオ	755	47		↗↗
	小型定置網	11	イサキ	468	43	中主体	↘
		12	マダイ	468	39		↗
海部沿岸	釣り	9	マルソウダ	502	56		↗
	大型定置網	2	マアジ	464	232		↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘